



めざせ!!

# 地域のヒーロー 消防団

問 防災課地域防災係  
☎95-9875

## 第3分団を紹介します

第3分団 分団長  
神原勝彦さん



市民の皆様におかれましては消防団活動へのご理解とご協力ありがとうございます。私たち市消防団第3分団は、棚尾地区、中山地区を主管轄としており、火災や災害に備えて訓練や活動を日々行っております。昨年からの新型コロナウイルスの影響で訓練や活動もままならぬ状況下での消防団活動となっておりますが、いつ起こるかも分からない有事に備えて団員は訓練や活動を懸命に行っております。

入団当初は何も分からず困惑気味であった団員たちも日頃の訓練にて防災への意識も高まり、日々成長もみられます。また今年度は台風などでの水害や火災などの件数も少なく安どしておりますが、碧南市は南海

トラフ地震などの該当エリアにもなりますので消防団の活動意義が非常に重要だと自負致しております。

碧南市は、消防団活動を通じての防災意識や知識が必要な地域だと思いますので、是非来年度以降の入団希望者へのお声かけもよろしくお願い致します。

最後になりますが、第3分団は「地域に愛される消防団」をテーマに活動をしておりますので今後とも応援よろしくお願い致します。



町をきれいに  
クランピー情報局

## 食品ロスを減らそう！

問 環境課ごみ減量係 ☎95-9899

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられている食品のことです。日本では、年間約2,531万トンの食品廃棄物が出ています。このうち、まだ食べられるのに捨てられるもの（食品ロス）は、年間約600万トンとされています。これは、世界中の飢餓に苦しむ人々への世界の食料援助量の約1.4倍に相当します。これを日本人1人当たりで換算すると、毎日茶わん1杯分の食べ物を捨てていることとなります。

処理するための費用は税金で賄わなければならない、捨てられた食べ物をごみとして処理するために燃料が使われることは地球温暖化にもつながります。



### 家庭からの食品ロスの原因は大きく3つに分けられます

#### 直接廃棄

買いすぎや冷蔵庫など入れたまま調理されない食品

#### 食べ残し

作りすぎや好き嫌いなどで、食べ残される料理

#### 過剰除去

過度な健康志向や無駄な調理による取り除きすぎた食材

### 食品ロスを減らすためには

家で食品ロスが出ないようにするだけでなく、食べ物を買うお店、食べるお店でも食品ロスを減らすことを意識することが大切です。皆さんのちょっとした行動が食品ロスを減らします。

例) スーパーの食品は手前から取る 食べきれぬ分量を注文して、食べ残しを出さない など

